

平成 28 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業)

『診療ガイドラインの担う新たな役割とその展望に関する研究』 公開フォーラム

第 2 回 Shared decision making (SDM) 公開フォーラム 2016 「患者視点から考えるヘルスコミュニケーション」

■ 日程・場所

平成 28 年 8 月 25 日 (木) 14 時 00 分～17 時 00 分 (13 時 45 分受付開始)

京都大学東京オフィス (新丸の内ビル 10 階) <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/tokyo-office>

■ 代表者

中山健夫 (京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻 健康情報学分野 教授)

■ 主旨

診療ガイドライン (診療 GL) の目的のひとつである、「患者 (一般者) と医療者の意思決定支援」について、特に患者の意思決定支援という視点から、どのようなあり方が望まれるか社会に発信することを目的とし、今回は「患者と意思決定を共有するうえで重要なコミュニケーション方法を患者視点から考える」というテーマで開催致します。

<第 1 部> 14:00-14:40

1. 厚生労働省医政局 ご挨拶 (依頼中)
2. 趣旨説明: 中山健夫 (京都大学 教授)
3. 患者の立場から考える SDM の重要性と診療ガイドラインについて

藤本修平 (京都大学大学院博士後期課程)

<第 2 部> 14:40-16:10

4. 患者視点から考えるヘルスコミュニケーション/Shared decision making の重要性
 - 4-1. 佐藤 (佐久間) りか (認定 NPO 法人 健康と病いの語り ディベックス・ジャパン 理事・事務局長)
 - 4-2. 山口育子 (認定 NPO 法人 ささえあい医療人権センターCOML (コムル) 理事長)
 - 4-3. 栗山真理子 (日本患者会情報センター 代表)

(10 分休憩)

5. シンポジウム「SDM で共有すべき患者情報とは？」 16:20-17:00

シンポジスト: 佐久間りか、山口育子、栗山真理子

指定発言: 江口成美 (日本医師会総合政策研究機構 研究部専門部長)

司会: 中山和弘 (聖路加看護大学)、中山健夫